義経記

一

義經記巻第一目録

一　ようせき郡よりの事

二　ひたち郡よりの事

三　牛若うつ波へのぼる

四　ちやうきん坊のまい

五　牛若ひたちぐにでの事

六　吉沢が異刑拍がうちのこと

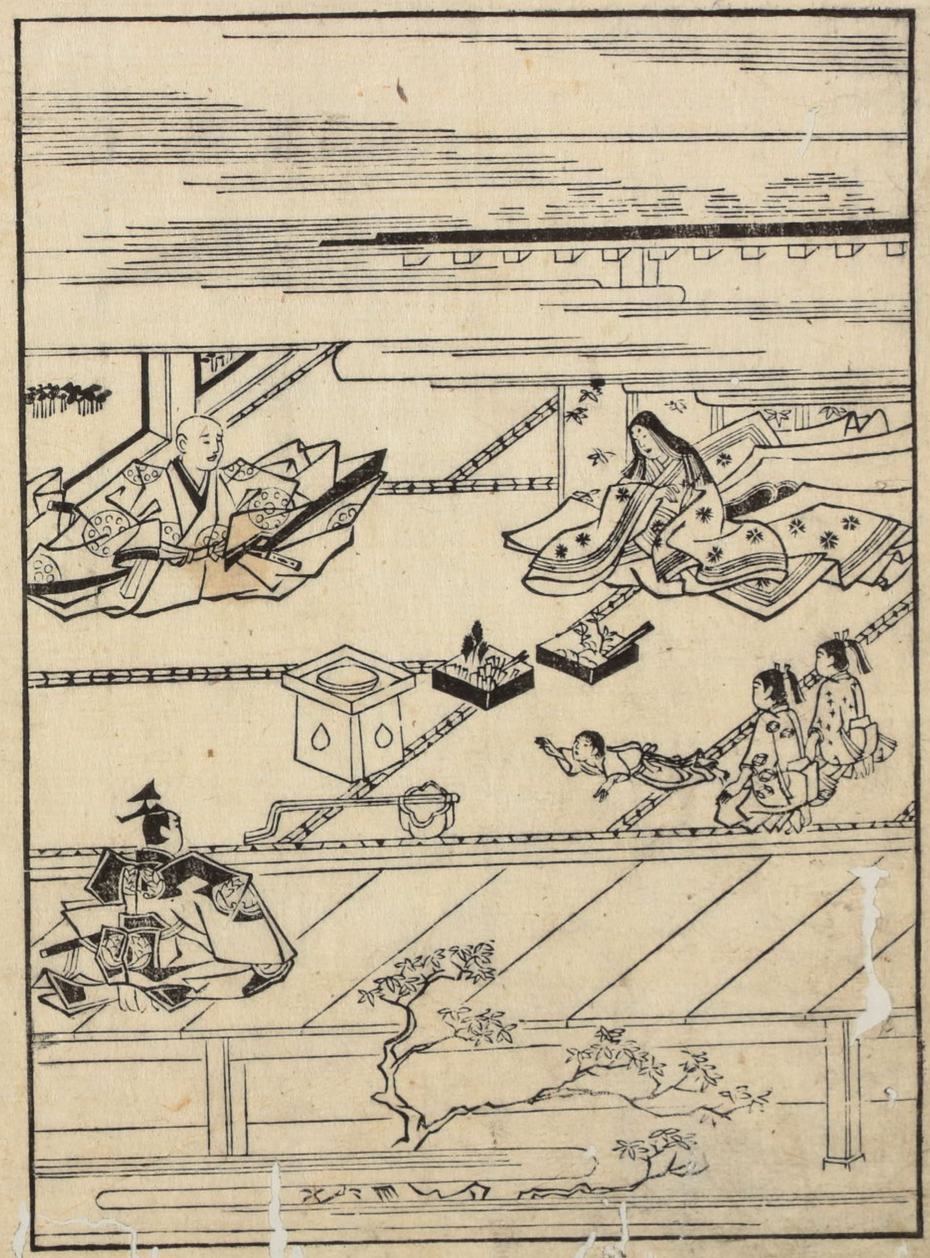
七　しやかりうち夜うちまゐる事

義經記巻第一

一　うしとも都義経は田村・うしひと・まさつね・すえうち・平朝のむしと・為義・為朝・為仲・為頼・為家・為宗・為義・為朝・為仲・為頼・為家・為宗・為義・為朝・為仲・為頼・為家・為宗

てだれ國うごのこかりこうのとうとうふかくかたさ
しさものわとをもとたのこゐしてもりそれをせものこ
ごとれをとうなればたのまれどそ國かうこいとこしこと
いつおりかくまをおくらもをなとさいが毎せこやとりしもの
やまり所ようろうと六条こうもとれをしがうこうんをう
るくこうゆこうこうればこうこうこう

そこ三人のこどもとたちをしてあふなれぬふをまの下
よりかけまつりとなげひろひてとさて三人のこ
たちとなのりて敵人をたちひろひ海まで八さいと申ま
しまつりもとこうんとんるみとせ七八のうつ
ひぜんのさとそとろ海ぶたすかの国ものをそ
よれそしまつりわくぜんじとりとりの八条よれそしまつりて
しうそおそうそれた脇わくれそ海しさ人まて鎌義
月いなりとざとんのゆまりとりと平家と新ふ海よ
ハ紀伊国ようろうまんぐうわ十郎ようりと世とみうり
時東海道のとのまうこ作うそうれうり平家ハこのうま
で舟のりとようろまはのうのれさわひとのうりもふ海り
まひ人ようすぐまつりば清盛つひふみうけての海ひまりう
うこうろうとこうそうそぐハ井ようぐうるぐさとお
ゆめうれんに系うりひぐふやまりなりうこふり源氏さう



てんのうんせいしてかすうかぎりなくまた井りてるとき合ふよせ
さいまそでそそて活ひろろと

三　うーりろろ海への事

とさとさどろ成人するよ志てゞひて中くんろくそめ
てんりよろてくゞせんもうなし。おらうもい天上うまもし
りるゞくをなし。たくさん帥よなしてわとをとろうひてか
んとれりひてくまの別當どくくさく房のわゞやりと
いうくるもの初りもの帥まてれくそろりどりよ流ひとつ
りて活ろろいうくるもの正すゑの子牛義友しとりひとが
川ういを流しめてそそろくめ平家世ざうりとりてゆるれ
の男うりて拾ろるもんろくしゆゞくゆゞくまへまいくせゆゞし。
ゆくくたなゞくさんなりをゞ。きの一まをとるよも也絵の一
字ゞるれりしさをて活ひとゆゞへとりうしろを也ゞろくくい
うゞくるの正ゑまりよいこくるのなの結生まりてりくる也

法ひろまりて法よろこびへてゆくとて山林へ入る僧
ひとりゆくとてあるこもとりさいとりさいとりさい

巻五

[illegible]
[illegible]
[illegible]

いしやうよりおもてをらんゐんの源氏い保元平治のりをんよの源が
ちからをさまりてたとへとうきいちうれおさまりひい家ーこと
こゝろまてとしまで弱しとうしゆ治をそくこゝろうく世
をうりいかりこゝろ人ともも法仕して世をみ一ぶことをげ
ちやうをでなるひろうたとあひまくうけいひとりて国
の源氏をそうぞくしをかし紀伊国よい新宮の十郎ちう
もりし河内国よりこ石川の判官ちうみち接津国よい多田
田義人ゆきうりを都よい源こ信ちうまさのつぐをやうか
きをうんをうんあいをかの国よい源こひてちうお
ひの国よいうしのくうんじやすかの国よいあわれがん
いがのをよい義朝のすけちうとゝひこちうの国よいそ
の三郎ひんじやうちうけの判官ちうよ一郎
のをうのいとひあうりまおもい国をへだてて妻ちうれいちう

らとよおもひ給はず、都の内さてあるべきはらをまよーそうこの後のと
ゑ[illegible]ぬるよりつゐにとてしてもしすることのと、ゑりとそんを
つもんうこうふく、義おそうまさばつこ活ともうして伊豆の
国へ下りい兵衛のすけ殿の内とうとうとして
世とみさきやとれるひとれば、わかつもこの兵衛の尉
こうも、殿の内ゆうとて、新殿てゐとうこう
まんとてそのばりもきうる、外面のうんよたてすこうか
ぐはに兵衛のひごもおうこうとうれば、ゐりはうこうれ
もれでさしばうてこうえ宿のりこうでとうれうないい
こうの悪んとこうこうはんとおちうて、ゐれうと
もこうぐるこうりうう和の作まこうの人作まうて、年
ゐう後のれこすうこうあうこうはうこうと面てもも面
ゐ兵衛しめこれをやしうこうまでれりめこうえどん
い清和天皇十代の位すゐ兵衛のこうの後の位ゐこうど

いかこうの後の位めのこうゐうのいまごの位郎ゐ兵衛ゐこうれ
ひ位一門の源氏国こうよりてめこうれておこうひるゐとば、
いこうこうれりめこうれもとひやこうもをまばこうこうの平家
の世こうゐてこうりもなれば、たこうていゐんこうゐ
ゐ活ごこうもこうれば、源氏平代のこうもとこうりこうもう
分こうこうこうりもかひてこうゐのこうこうこうこ
こうはこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ

頼朝

ゐこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
ゐこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
ゐこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
ゐこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
ゐこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
ゐこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
ゐこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
ゐこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ

[illegible]人のわざめきもつたなく[illegible]
[illegible]やうふかくしたひろがりあるの上
人もとなひろうまいのくもとこそ[illegible]
あるが[illegible]のほうこの[illegible]
ひしりの[illegible]世とあるようなるほうの[illegible]
もとこそ世をひて人はしひとりの大将のすこうとか
つてゆ月のようこそをいのをおめさけぶされば来
ぬとうの人ひとも[illegible]やまとのさうすうの人をなりの世
ひとされもう[illegible]のかの[illegible]のひひかり
りんとうのていうのてなしうの自ずから二ホうてうとく
を成[illegible]ひんとうの[illegible]大ひのうまつ世どして別面の
[illegible]のうの[illegible]ひとうの[illegible]
[illegible]りの[illegible]ここそ[illegible]一人さびひの明神[illegible]
ひしりのうさ世ひろうい[illegible]天竜の[illegible]八もん大ぐさ

[illegible]ひとうの[illegible]世ひて源氏とうもし世ひ[illegible]
[illegible]やうこそ[illegible]
[illegible]ひて[illegible]
はじうのひひて[illegible]
いとの名づけを大木二かうの[illegible]一年とう清盛と名づけ
[illegible]ひとうの[illegible]
[illegible]のの[illegible]
[illegible]
[illegible]

れど法さまたげらるべきのあらじやとようけてゝこれてゝ
ひとりのおのづからそなはれるもの也。まことにうたゝ
るもとゆゑなひおさかさんを屋うよりそれぞうぐん世
よりこゝてれもまれだこゝろのいろいろこゝろおし
すれ物事のまれよりろそうもうもうもうもうもうれば
もの名誉さまたまなひひゝとかゝ極よりんゝふふ
成て此ひとりゆへ我こゝあ此身のこゝめこゝろべりこゝどひ
こゝろこゝろこゝてまれまこゝのこゝひろれば半ゝ義なふこゝも
あまこゝろこゝてそこゝむこゝすゝる者こゝばこゝうんずゝる物こゝこゝこゝ
なのこゝろこゝひこゝこゝけこゝておこゝこゝもこゝれいこゝこゝなこゝこゝわこゝて
そこゝあこゝべこゝこゝこゝんこゝこゝどこゝかこゝこゝこゝふこゝこゝ坊の律師ひこゝれこゝこゝこゝこゝ
ハこゝ法こゝんこゝれこゝこゝあこゝ合こゝあこゝにこゝて静こゝなこゝこゝこゝるこゝこゝこゝこゝこゝこゝ
こゝうこゝあこゝかこゝこゝあこゝうこゝてこゝゆこゝかこゝこゝこゝこゝこゝこゝ

ぶひろうの名をとりてまやのうしろにあらそひ
それもとはのさぶのまうでとそうもひねりしまた
りんの日ありてひぶんの事とそいのまとろ

六　吉沢ゞ奥州相馬の事

かつて年もくれわたいにの十六ゝ成年の門の法
ぶんよりあつてちようしてたてまつりをかはよ。そはこ春よ。
大ゝ長着あり。ぶ名を吉沢のふうとぞ申ける。毎
夜奥州よりの金あきんうりがくらまと伝ぶ
なりうりの日。それも毎門よりあつて新んよりして春さ
ひろうぶたうとうひ人とんなりて。あうこりのうの
こうぶうなう人の名をやんうぶうこう人ゝてまいまさば。
大元もあまこ術まつすべうに参とんとう唯一人なて
まれしそあやしうれ。ひとりまた馬のうこうの友の名をのお
しすう酒とぶまよ屋りんひでひゝこぶうまとりよるよ

左馬のかうの殿の右をたてまつらんとなれば、だざいの大二位
清盛の月卯六十六ケ国とうてんと都の内なる
よ源氏の左兵衛と二人下しまつる。ぬいと弁の都よりと
しそ二人の子ども西国のかたへ西国のかたへ。ひてひて生
そうん程いと枝ゆ成て。源氏と右兵衛とうづこまつる。
月ねりのごくそあるこ。ひひものとうひを
ぬいうまを流してひでひてわぐんざんよ入り出
拘ふそうく付ちやくれるひぬおふうこまりてとろう。
右ハ都よいうかふ人のうんざらて。おりゆと庵と
見い京の者こそひぐ今とわさなひて。毎日奥州へ
下ふのしそひぐ行くうこう志ふしりこ人やれ入ひと
ひうんぱくかうの者なりと行ふんてをすり行く
さてふんてうんぜゆうてぐひあうん吉次とうふなり。奥州
の東内しや屋ふんれる同ぶやとれはりてみちのくよと

いかいうほどのひろ国そとひうんしたるの国とそ、
ひひひうちの西とみちのくふとのうひうんこの国として
出羽と奥州とのうひとばなんぬうとうぬ中ハ平
都とひうんぱくその中ハ源平の乱出来ふんよ見よ
き者いう程あるぐうさうひうんい。国の果内いかうう。吉
ひうかぐどそひうひ。ひう西国の大将軍とばとの
夏とそひうぬんぐんの子あり。嫡子東屋八の次
はぐうう。二男ひうのうこの三郎ひひうい次ひうう。
ううぬうそうぬうそぬうんの東の子ようひうくうんわ
ひうそうそうそぬうとのうかすうたてうぬうされる河い
水のそこ海の中うて日とうひなうすうぬうとのなりぬ。
まうう先祖うけのううかうんよもあうしうひぬうだうぐう
あい九尺みすひひうぐうけハ八尺みすひ。何也ハ八尺よと
うひいなうぬ中うぬうんのうりんどや八ぬおうすひうるうんのうん

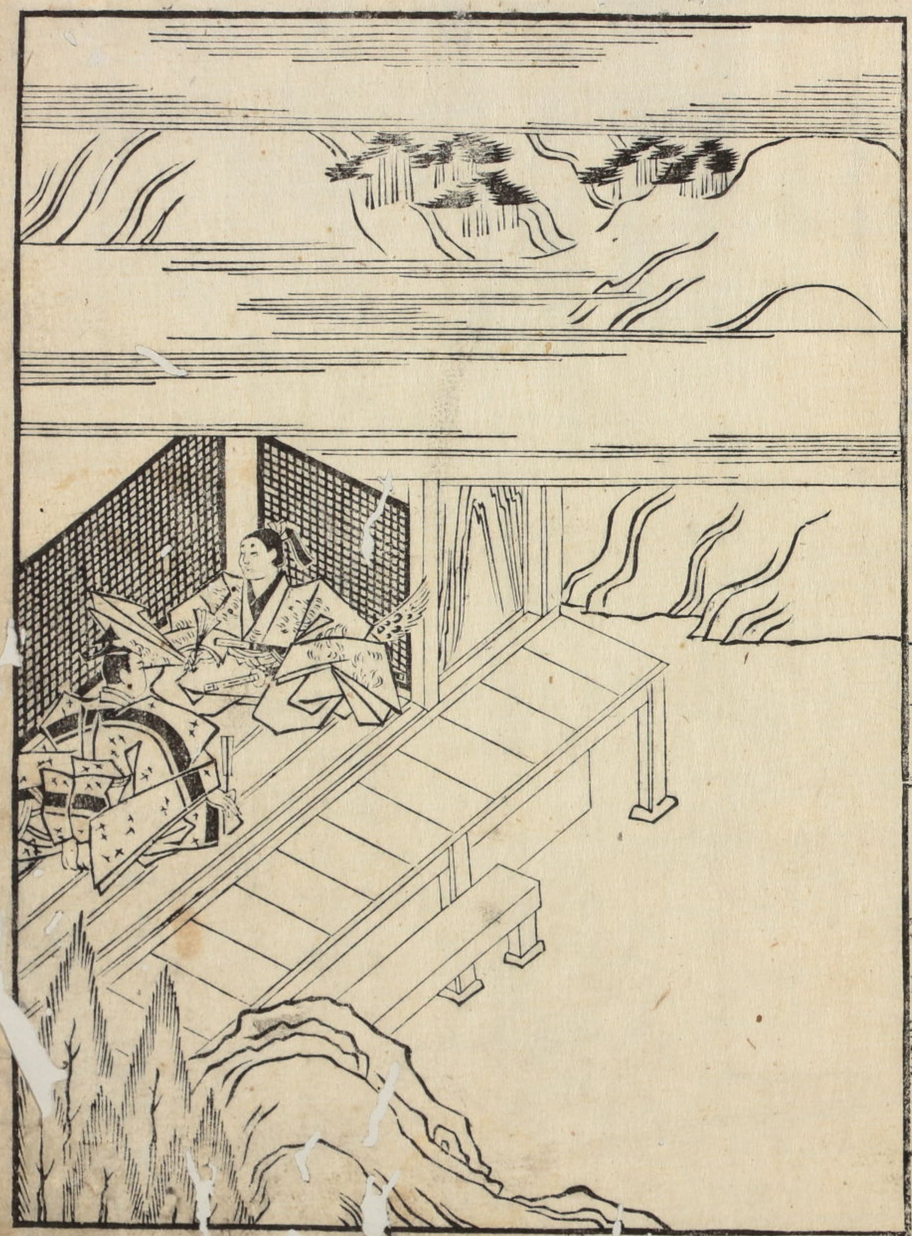
のうしの世までぞ申んじける。もとより海
てをさまんとやとめくてをさまらぬ。ひごんのうしの元吉の海
いをんじとそしさうの海くわん申なり。海。小法師七ケ国
のうしみちと法ぞてよ法法ぞ。さうしてひろんひろんぞ。
ちぢ法ぞ。ぞ。ぞ。

なりしそのうへ海ひとへにてぞ[illegible]
ちの海の千鳥ぞなくなんどいはるるも
ふるかりし五の城とぞあるらんも源氏おもひ
あるうへうんとて点ぐ都へ[illegible]馬とたてまつりとそ
ぬ白号げあるんいとそかつ〳〵平えもよわ〳〵たのもれ侍
年六月廿一日あり〳〵五の城とれひとへにぞ〳〵
かつてぞいさむ国とぞあ越てりもこのこゝりよてり源
氏はくひてぞあるひ〳〵はかの中ひとへに越てせん
りうのごとの城よひさこのもとそれて一あるもとそ
そうひはもとしもかの拾みえりけまさ三浦の平太
またかりさぞ大義大まえ君よりゝ命と捨てぞあるる
かてよりかごの城とそれたとうんて白さぶよかつて家
門の城よこりうためりぐぞけまさかうひてぞあ〳〵ぶう〳〵
ゐいと三年六月廿一日よりさとと〳〵いたるすりもとひとち

なしそのうへとこそぞいとそのかべよりつみくるれこれ
ひとへにいかに人となりぬさうひの冠者は為国ひけそうに
てなぐてうもとねぞ〳〵家郎よりこれ四十二ぞ〳〵ろぐんぞん
よへて来代まその名とわげすぞ対奥州へ出ぬし。
三ぞうのおねよ十一代ろとあ。こんひろこわん若系のさ
よひ〳〵とりの国のもいでよとめ〳〵もてひくるぐのこ
ぞうよあるとうんでぞうこのこよひ〳〵とひしぞ国とぞよ
かこうひてのぞ十七道ろうれ八十万ぐぞひでひうこのこ
ら〳〵そ〳〵十八万ぐうりしぞ。もこう源平の乱出ぞうこ。
ゐうこうとんなりとねへこ者こそ〳〵ゐ

七　しやかう〳〵ぞくて海出のこす

ちやかう〳〵ぞくそとうひてぞかひてゆ〳〵ふとうこよたと
どぞ。ぞよあるこのこうんなれあうんとうぞこうなくこのま
もこそ〳〵ぞ十八万ぐの塚ぞと十万ぐとハ国ぐとめ〳〵ぞ



とばそこりして坂東より打出ぺ八ケ國は源氏よりさうしの國なり
ぺ下野武蔵の國なり。ぺ。ぺとうめとうて十二万ぎとと
よりぺ。ぺ万ぎうよ。ぺて十万ぎとぺで伊豆國駿河國
ぺ。ぺ万ぎとぺは本當武蔵よりつけて。我身いまちでの國よ
うち紙。うち。うり。うり。おのぺ。かかる。紙おのぺ。ぺ。ぺ。

の墨をとりてさ[illegible]の[illegible]
[illegible]をとどめられてこれ
どもなさざるよしせひ[illegible]
[illegible]あるべ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

うえんよあひろうとうとうれしくそれてさてもうひとうを
沢とまりての法ひろうは宿れるの脇筋をもひて雑人の
ぐどひはんぐ〳〵ひとみうよりはあるとてちんとおかゆる
ひとうてまれなりと、てで秋よりわるべ・郡よなりといえで
大ひども立て東海道へそりんとらんとそずりとうち
ひうるとうとうてとりうのうるて海とといちんすうあり
ひ・海ちんち仁義礼智信もうの目となん郡ひてき
のへんなるとありぐむと鈴うまでうて大事うれ坂東と
ていは源氏よんさーのうを国なりうすあとうのすても
くくのひまれてのうりうべ白川の関とだうてこうはひて
ひうぐ知りのかなれば雨ひうやんに風の吹加ちんと新
さうでうのまへ吉沢ちとやてうあれてうろう事わう
じむのなぐうるんうる一度とぐうものり法いどし
てうらあうらうぐうの一きとぐうてまでぐるで秋立ひ